

VDI グラフィックスカード GRID K2

ご使用上の留意・注意事項

VDI グラフィックスカード GRID K2 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2015 年 1 月
富士通株式会社

1. サーバ本体への搭載キットは必須オプションとなります。（TX300S8 / RX350S8 用の搭載キット：PY-TKVG01 をご購入された場合は、PY-TKVG01 に添付の『ご使用上の注意』に記載されている、弊社指定の“ハードウェア設置サービス”を必ず手配してください。）
2. 本製品には、GPUの負荷が高くなった場合に熱の発生を抑えつつ動作を続けるために内部クロックを低く落とす(スロットリング)機能が搭載されています。そのため、アプリケーションによっては性能が低下する場合があります。
3. TX300 S8 / RX350 S8 にてご使用される場合は、以下の構成制限/留意事項があります。
 - 本体 BIOS は 1.3.0 以降が必須です。
 - 2CPU 構成必須です。
 - 5 インチベイを 2 ベイ占有します。
 - 電源ユニット(450W)を 3 台以上、または電源ユニット(800W)を 2 台以上必要です。
 - XeonPhi コプロセッサとの混載はできません。
4. RX2540M1 にてご使用される場合は、BIOS 1.11.0 以降、iRMC 7.69(SDR 3.49)以降の適用が必須です。また、本カード 1 枚搭載かつ CPU が 1 個の場合のみ電源ユニット(800W)で使用できます。他の場合は 1200W が必須です。450W では使用できません。
5. サポート契約について
本製品をお使いのお客様には、「ホスト OS(*1)」「ゲスト OS」それぞれに対して Support Desk 契約をご契約頂く事を強くお勧め致します。なお、「ホスト OS」または「ゲスト OS」のどちらか一方だけにしか契約が無い場合は、障害の切り分けはお客様作業となります。お客様での障害切り分けは技術的に困難なケースもありますので「ホスト OS」と「ゲスト OS」の両方をご契約ください。
*1: Citrix XenServer のサポートを受けるには、「Citrix XenDesktop」の SupportDesk 契約が必須となります。
6. ドライバについて
本製品を使用するには、nVidia 社から提供されるドライバが必要になります。
本製品のドライバの問題に関する切り分けに関しても、「ホスト OS」「ゲスト OS」それぞれに対して Support Desk 契約をご契約して頂く必要があります。